

第十二回

日本漆喰協会作品賞

the 12th competition of japan shikkui association

第十二回

日本漆喰協会作品賞

the 12th competition of japan shikkui association

伝統の良さを今に伝えて

日本漆喰協会は、日本の伝統的な左官工法による安全で健康的な建築文化を後世に継承して行くために、国内の主だった関連企業が結集して設立されたものです。



作品賞の目的

過去3年以内の国内の漆喰やドロマイトプラスターを使用して創作された作品の中から日本の伝統的な不燃建築仕上げ材である漆喰の普及、技術の向上を図り、安全で環境と人に優しい漆喰工法による建築文化を後世に継承していくための一助となること、併せて漆喰関連業界の発展に寄与することを目的とし、社会的、文化的見地から特に優秀と認められる漆喰を使用した作品の表彰を行う。

目次
Contents

ごあいさつ 04
Greetings

審査総評 05
Judge

入賞作品 08
Win a Prize

住所リスト 47
List of Address

漆喰とは 51
What a great Shikkui.

ごあいさつ

漆喰市場のすそ野拡大を目指して

今年も全国各地から漆喰で仕上げられた選りすぐりの物件のご応募を頂きました。

例年ながら応募してこられる作品は非常にレベルの高いものばかりで、それを目にする審査員の喜びと苦労は常に相半ばしています。

応募も協会会員推薦以外のWEB情報経由が増えており、多くの人の目に触れる公共物件も増えるなど、段々と作品賞による情報の拡散も進んできているように思われます。

現状、漆喰仕上げのニーズは調湿・消臭・抗菌・不燃という漆喰の機能性を求めるユーザーと漆喰の意匠性により価値を見いだす建築家と言う二つの大きな流れに分かれているように思われますが、さらに文化財など伝統建築の改修・維持という絶対不変の市場も存在します。しかし、総じてより安価なクロス仕上げなどに比べての市場規模はかなり小さいと言わざるを得ません。

作品賞は当然意匠性をメインに技術や文化的背景も審査の対象として、漆喰の価値を啓蒙して行くためのツールとなっていますが、業界が活性化するためには作品としての価値を問わない市場のすそ野も拡大して行く必要があります。

需要が無いので職人が減少する結果、職人が少ない（と思う）ので漆喰の採用を建築家や工務店が躊躇うと言った市場縮小の悪循環を脱するためには、一般の住宅や公共物件など、より普遍的な市場でのより一層の需要喚起が必要であり、そのためには漆喰の普遍的な価値である機能性に関する認知が一般常識となることと価格競争力のある工法の提案も必須であろうと思います。

そのようなすそ野に支えられてこそ、高度な技術を必要とするプレミアムな市場も拡大して行けるのではないかとと思われるからです。

日本漆喰協会
会長 行平信義

■ 審査委員

審査委員長	古賀一八	
審査副委員長	後藤 治	
	難波蓮太郎	小松七郎
	石河公一	田中克也
	齊藤祐子	鳥越宣宏
	多田君枝	駒形忠晴
	三原 斉	安西 徹
	興石直幸	(順不同、敬称略)

審 査 総 評

近年、地震災害、土砂災害など自然災害がしばしば発生しています。また、エネルギー問題、地球温暖化現象など建築物を取り巻く環境が変化していく中、住宅・建築物の省エネルギー基準が改正されるなど、住宅・建築物の高断熱・高气密化がより一層増えています。高气密化が進行すると、屋内の様々な物質から放散される、シックハウス対策に係る法令等にまだ規定されていない化学物質（VOC）が、外部に放出されずに蓄積される危険性ははらんでいます。このような、環境変化のなか、漆喰は厚生労働省が定める13物質に示されるVOCの放散の危険性が極めて少なく、比較的ポーラスでしかも長期間にわたってアルカリ性を保つので、湿気のみならずVOCなどの吸着が期待できます。このように、漆喰はこれからの建材であると確信しています。本年も16都道府県32件の応募がありましたことは、感謝の念に堪えません。今年の特徴としては、次の通りです。応募のきっかけについては、漆喰協会会員からの勧め10件、協会HP11件、情報サイト6件、募集チラシ2件となっています。作品の種別として、戸建住宅11件に続いて、公共施設6件と不特定多数の人々の目に触れる場所に使用されていることは、漆喰の普及に大きく寄与できるものと考えられます。工事案件につきましては、新築工事22件のほか、改修・増築8件です。今回の大きな特徴は、フレスコ画が3件あったことで、いずれもレベルが高い作品ばかりでした。漆喰協会作品賞の審査方法は、他の審査方法と異なり、応募書類に基づく審査のみならず、応募に必要な条件を満たす全ての作品を実際に確認することを行っています。大変手間はかかりますが、写真や書類では解りにくい、施工状況、仕上がり状態、納まり、施主の方の満足度などなど、現場でしかわからない情報を確認するなど、より厳格で確実な審査を行っています。施主の方のご協力があればこそ審査が可能です、施主の方にも感謝申し上げる次第です。

審査委員長
古賀一八

W in a Prize



選考評

施設建物であるが、角のアールが効果的でふっくらとした柔らかな印象を与える。四万十川の上流という自然豊かな風景の中で、輝くような純白の漆喰壁がシンプルで優しいデザインの建物をより際立たせているように感じられる。全体に丁寧な仕事。ストローバイルならではの壁厚を生かした開口が効果的に配置され、漆喰、木、石の素朴さと建物デザインが見事に調和した作品である。経年で豊かな自然と融合していく姿にも期待したい。



所在地	高知県四万十市西土佐江川崎 2410-3
竣工	2016年3月22日
設計者	株式会社寒川建築研究所 寒川洋次
施工者	株式会社山沖建設 山沖 修
左官	川村左官工業 川村年明

受賞者のコメント／設計者 寒川洋次

四万十河口から上流へ1時間、風光明媚な山村地域に位置する道の駅。

本施設最大の特徴である“藁積み”と“漆喰”によって仕上げられた内外壁は、荒々しくもその優しい手作り感で施設に温かな印象を与えています。高知ならではの自然素材に対する意識の高さとそれを実現させる職人技術、加えて建物づくりに参画した人々の想いによって、今も地元密着型の施設として地域住民に愛されています。



選考評

蔵を解体し、そこへ新たに建てられた、蔵の住まいである。昔ながらの土壁下地に板壁と塗り壁であるが、それが住まうものにとってどれだけの快適さをもたらすか、説明の必要もないであろう。大工は木を選び、刻み、組みあげる。左官は土をつくり、小舞を編み、壁を塗る。かつて当たり前であった家づくりの姿が珍しいものとなってしまった現代において、その仕事を守り続けている設計・施工・左官がいることを広く伝えたい。



所在地
竣工
設計者
施工者
左 官

愛知県額田郡幸田町大字坂崎字神宮司 48
2016年1月
一級建築士事務所木輪組 小田貴之
オダ工務店 小田紀充
有限会社小林業務店 小林 公

受賞者のコメント／設計者 小田貴之

古い蔵戸を玄関の建具に使い、木、土、漆喰、瓦を職人の手仕事で仕上げた懐かしい佇まいです。住人は若い世代の家族で、普遍的な意匠は永く暮らす事でも色褪せない丁度良い快適な住まいです。これからもある素材と職人により、少し手を加える事で容易に受け継ぐことのできる、寿命の長い蔵戸の家が出来上がりました。



選考評

土蔵の修復にあたっては、これまでに耐えてきた年月をさらに超える仕事が要求される。本作品も先人の仕事を感じながら自分の仕事をした、左官にとって胸を張れる仕事のひとつであろう。すっきりと立ちあがる妻面の壁、螻羽、破風などに一人で挑むには一度二度の仕上げでは納まらない。数を重ねて仕上げられ、よどみなく堅牢に押さえられた漆喰からは、地域を護る職人として磨き続けている技術と真摯な姿勢がうかがえる。



所在地 奈良県高市郡高取町下土佐 310
竣工 2015年10月
施工者 西本工務店 西本太久巳
左官 和佐左官 和佐忠浩

受賞者のコメント／左官 和佐忠浩

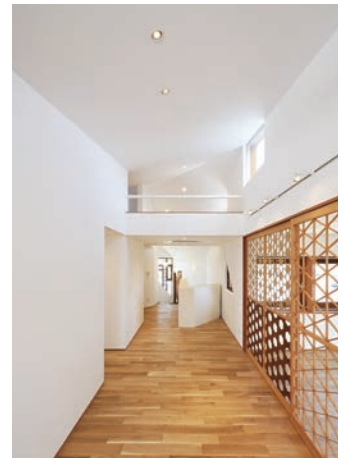
日本三大山城の一つに数えられる大和高取城。

その城下町のメイン通りである土佐街道沿いに残る土蔵。後世に残したいというお施主様の想いに答えるべく、伝統的な工法や素材にこだわり、仕事をさせて頂くご縁に恵まれました。今回このような賞を頂けたことを励みとし、今後の左官人生に活かしていきたいと思えます。関係者の皆様に感謝致します。



選考評

漆喰塗りを標準に住まいづくりを勧める建築会社として、その新社屋の大半が漆喰で仕上げられている。無垢材との組合せで自然素材の良さを表現しているほか、その意匠提案も行われており、漆喰の素晴らしさが大きくアピールされている。また、そこで働く社員の感想として、快適な執務環境であるとのコメントも喜ばしい。



所在地 埼玉県深谷市国済寺 422-9
竣工 2016年4月18日
設計者 森史夫+ONO 一級建築士事務所 小野 猛
施工者 シグマ建設株式会社 小野 猛
左 官 鶴川工業株式会社 鶴川 建

受賞者のコメント／施主、実施設計者、施工者 小野 猛

構想から3年6ヶ月をかけて完成した新社屋。基本設計は私の建築の師でもある森史夫先生に依頼。先生独特のモダン建築、そのデザインを生かしながら、ゼロエネルギー（スマートオフィス）建築を目指しました。その中で欠かすことのできない素材が漆喰。室内環境をコントロールする重要な役目はさる事ながら、漆喰壁に射す光が織り成す表情には季節、時間の流れを感じ、心が和まされます。



選考評

鎌倉の名所として全国的にも知られる古寺名刹における座禅堂の新築工事である。僧が寝起きし座禅を行う修行の場として厳粛な堂であるが、内壁の淡い色漆喰と木や畳などが調和し、張り詰めた静閑な空気の中にも暖かみを感じることができ、優れた技術、丁寧な仕事とともに、そこに集まる僧たちへの細やかな配慮がうかがえる。



所在地	神奈川県鎌倉市山ノ内 8
竣工	2015年12月
設計者	望月敬生建築設計室 望月敬生
施工者	株式会社中島工務店 中島紀子
左官	株式会社あじま左官工芸 阿嶋一浩

受賞者のコメント／設計者 望月敬生

建長寺大徹堂は、修行僧が起臥し座禅をする道場である。以前の大徹堂は、老朽化が進み危険な状態となり、建替えが計画されて、平成27年に新大徹堂が落成した。設計にあたり、鎌倉に鎌倉期の禅宗様建築を再現すべく、軒反りや木割、壁は白漆喰塗りと本格的な意匠とした。内部は修行環境を考慮して、天井高を高くし、内壁の漆喰には黄色を混ぜるなど座禅の為の工夫を施した。



選考評

木と土と漆喰。伝統的な素材を使いながらも、その検証や可能性を探る様々な試みが行われている。施主とともに住まいの新たな姿を探求する、次代での住まいづくりに大きな意義を感じられる作品であった。土下地に砂漆喰でおおらかに仕上げられた事務所空間から、どのような建築が生まれるのであろうか。今後が大変興味深い作品である。



所在地 奈良県奈良市左京 1-6-22
竣工 2015年6月
設計者 伊藤吉郎+トヨタヤスシ建築設計事務所 豊田保之
施工者 株式会社ツキデ工務店 築出恭伸
左官 豊田工業所 豊田武生

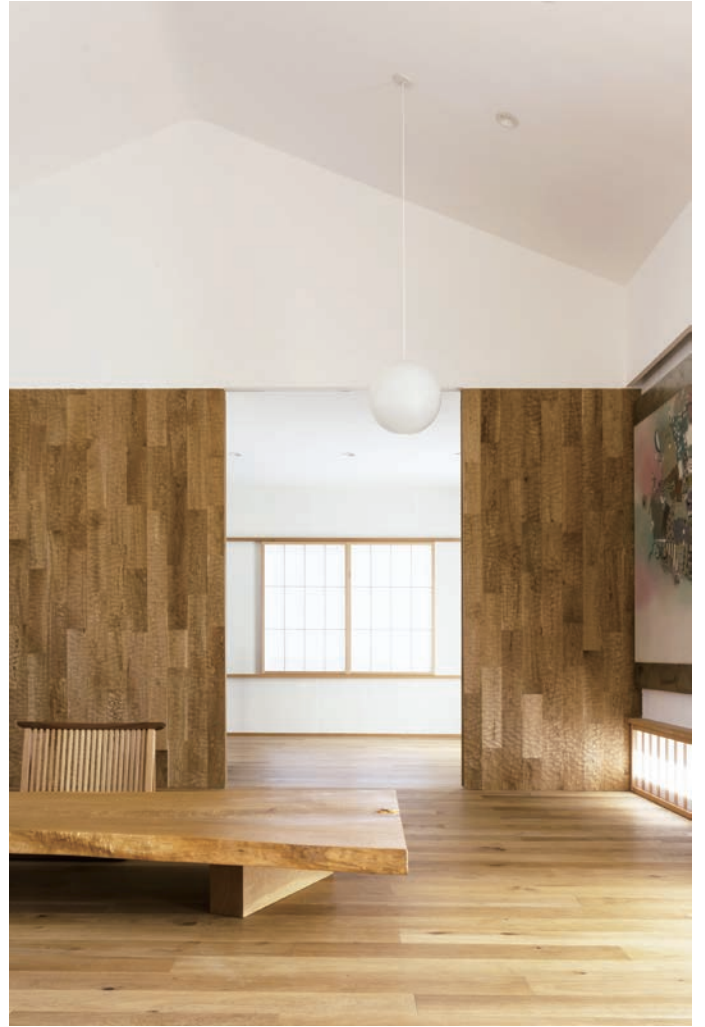
受賞者のコメント／設計者 豊田保之

「土壁や漆喰ってどうやってつくるの？」こんな時代はもう目と鼻の先である。既調合品を使う左官職が多い中、漆喰だけは、素材を一から調合することに決めた。我々の世代は、親方から学んだ手法を忘れずに次の世代に伝え、かつ、時代にあわせて進化させる役目を担う。現代の知見を元に、土壁・漆喰の防火や調湿、蓄熱効果を定量的に提示できるよう今後も取り組んでいきたい。



選考評

新たに建て替えられた本作品であるが、歴史を感じられる母屋や門塀の姿と違和感を出すことなくしっかりと調和がとられ、離れとして静かに寄り添っている。窓廻りの塗籠、出隅の曲線や入隅の面取りなど、左官による精緻な細工も効果的に施されており、施主や設計の描く理想の姿を実現した施工者や左官の努力も高く評価したい。



所在地 広島県安芸郡熊野町中溝 4-7-4
竣工 2016年10月6日
設計者 株式会社アラキ+ササキアーキテクト
施工者 橋本建設株式会社 橋本英俊
左官 高松左官工業 高松英二

受賞者のコメント／設計者 佐々木高之

この度は第12回日本漆喰協会作品賞をいただき、大変光栄です。2年を費やした長い設計期間も辛抱強く見守ってくださったお施主様、そして、遠隔地からの監理でも美しく施工してくださった橋本建設・高松左官工業の皆様に対し、感謝の念に堪えません。この場を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



選考評

内部では照明機器などの埋め込みや、間接光を用いるなどの視覚的な配慮を行うことで、漆喰の素材感が最大限に活かされ、古色で仕上げた梁や調度品による室礼が静かに映える。外部では、あえて細かな鏝跡が残るように細かく押さえた、ムラを創る仕上げ方法により、重厚かつ歴史ある雰囲気づくりに成功している。漆喰に対する造詣の深さと愛情によるものではないだろうか。設計者の創意を左官の熱意が体现した作品である。



所在地	島根県松江市奥谷町 159-11
竣工	2015年12月
設計者	有限会社環境計画建築研究所
施工者	株式会社金見工務店 川井幹也
左官	有限会社中村技建工業 高尾良悦

受賞者のコメント／設計者 (有)環境計画建築研究所

松江城に近く江戸の風情が残る城下町に位置し内外共漆喰としたが、外部は左官でしかつくり出すことができない表現を求め、波打つような凹凸の鍔ムラをつけた。そのため「大きな壁面に小さな鍔を小刻みにかつ優しくなでるよう」に鍔ムラのコントロールを行う丁寧な施工により決して粗雑な感じは無く、柔らかさとダイナミズムを感じる仕上がり、陽の当り方で凹凸の表情が変化する。



選考評

ビル居室のリノベーションにあたり、地元の砂と土を混ぜた砂漆喰で大壁と天井の大きな一室を塗りあげた作品である。同じ素材で一氣に一つの部屋を包み込むように、おおらかに仕上げたことで、混ぜたそれぞれの素材感が現れている。自然光が天井・壁面ともに柔らかく反射し、住まう家族にとっても居心地の良い空間となっているであろう。



所在地 石川県
竣工 2016年10月8日
設計者 小笠原優建築設計事務所 小笠原優
施工者 有限会社中野工務店 中野晴樹
左官 坂森左官 坂森 康

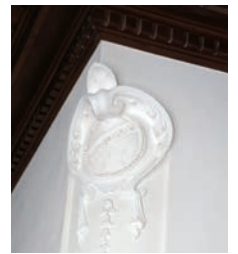
受賞者のコメント／設計者 小笠原優

限られた開口部からの光が室内全体にしみわたるように、地元の浜砂を混入した温かみのある砂漆喰を使用しました。内部は大きく掘り込まれた洞窟のようでありながら、切石の塊を積み上げた遺跡のような空間になっています。漆喰を単なる面としてではなく大きなヴォリュームとして扱うことで、素材本来の持ち味を生かした力強い空間になりました。



選考評

保存修理により創建当時の姿が再現された、地域を代表する国の重要文化財である。崩落防止が施され、そのまま保存された明治期の漆喰天井は、大きく豪華なその姿と保存にあたった努力に感嘆する。また、およそ建物の三分の一はあろうかという復原部は全て漆喰仕上げである。様々な装飾とともに当時の様子がうかがえるほか、歴史だけでなく建築についても多くを学べる展示が行われているなど、貴重な作品である。



所在地
竣工
設計者
施工者
左 官

岩手県盛岡市中ノ橋通 1-2-20
2016年3月1日
文化財保存計画協会 矢野和之+細川道夫+津村泰範+野呂光平
樹 丸山絃明
工学院大学建築学部 後藤・田村研究室 田村雅紀

受賞者のコメント／設計者 津村泰範（主担当）

明治44年に辰野金吾・葛西萬司の設計で建てられた重要文化財「岩手銀行（旧盛岡銀行）旧本店本館」。保存修理を機にそれまでの営業行舎としての役割を終え、地域に開かれた公開施設に転用するにあたり、この建築が持つ魅力を活かし、この場を多くの方が使用するために、200㎡近い営業室の漆喰天井をそのまま保ちながら崩落防止補強を行いました。今後も末永く地域に愛されることを願います。



選考評

大工と設計者らにより、住まいながら築100年の長屋の改築が行われたという珍しい事例。左官が設計、施工者の労苦をひしと受け止めて仕上げたものであろう。内壁、天井のほとんどもに漆喰が用いられる中、細部まで丁寧に施工されており、平面から端部まで綺麗に仕上がっている。さらに100年先にも残し続けてもらいたい作品である。



所在地 東京都文京区本郷4
竣工 2017年1月15日
設計者 きよたけ建築工房
施工者 きよたけ建築工房
左官 株式会社千壺屋

受賞者のコメント／設計者 真銅恭子

都心の一角に静かにたたずむ築100年の長屋の改修を行うにあたり、床は杉板を施し、天井と壁の仕上げは全て漆喰の押さえ仕上げとしました。

丁寧な左官仕事によって施工された白い天井と壁が、光を受けることにより、漆喰の持つ透明感や奥行きを感じさせる心地よい空間に仕上がりました。



選考評

丁寧に塗り重ねられた漆喰と丹念に磨き上げられた木材は互いをいっそう際立たせ、その優美さに息をのむ。施主の想いに、作り手がしっかりと向き合って実現させた、人にも住まいにも優しい改修が行われた結果であろう。残された太い柱や梁を生かし、壁を塗り直し、先人より伝えられてきた住まいの姿を大切に残している古民家再生の作品である。住み継ぐという言葉どおり、大切に未来へ繋いでいてもらいたい。



所在地	栃木県さくら市
竣工	2016年3月
設計者	ユードィーホーム株式会社 鈴木健規
施工者	ユードィーホーム株式会社 鈴木健規
左 官	齋藤工業 齋藤光範

受賞者のコメント／設計者 鈴木 健規

先祖代々受け継がれてきた古民家を施主様の想いのもと再生致しました。使用した材料は全て自然素材。黒光りした梁に真っ白く美しい漆喰が映え、その美しさに思わず感動のため息がこぼれます。「ずっと休んでいた建物が息を吹き返したようで、ご先祖様もとても喜んでくれると思う」と施主様。これから先100年、200年と未来へ受け継がれる建物であるように、願いを込めて設計致しました。



選考評

多くの土蔵が取り壊されていく昨今、施主とともに資材の調達から取り組みながら、新たなものが築かれた大変貴重な作品である。頑強な木組みの構造に、左官工事も下地荒壁から砂漆喰、漆喰と伝統工法に則り仕上げられている。海鼠の腰壁、黒漆喰まで仕上げられた扉、繁栄の象徴であった蔵の姿が今もそこにある。



所在地	千葉県長生郡長南町岩川 540
竣工	2017年2月
設計者	川崎親夫
施工者	建築山崎 山崎晴夫
左官	有限会社秋葉プラスタル工業 秋葉正男

受賞者のコメント／施主 川崎親夫

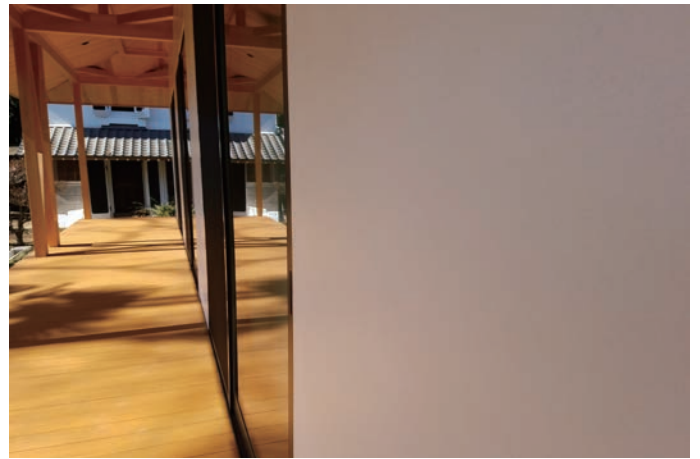
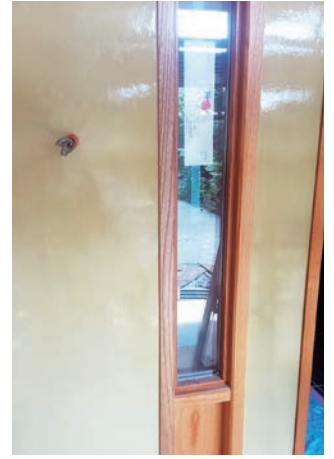
長年に渡り計画していた日本の伝統工法による土蔵工事に着手し、探求心と高度な技能を有する施工業者とのご縁で完成に至りました。

伝統技能の継承を願うと共に、ご尽力頂いた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



選考評

幾度にも土佐漆喰が塗り重ねられた外壁は、重厚でありながらも周囲の自然と優しくなじむ。また多数の左官で挑んだという大面積の大壁は手の違いによるムラもなく、見事なまでに均一に押さえこまれている。壁面に型取られた稲穂は一家の豊穰、繁栄を祈ったものであろう。実り豊かな住まいとして永く暮らしていただきたい。



所在地	埼玉県所沢市南永井 259
竣工	2016年8月
設計者	株式会社設計本舗 中谷浩之
施工者	有限会社鈴木建設 鈴木義隆
左官	有限会社増田左官工業 増田静一

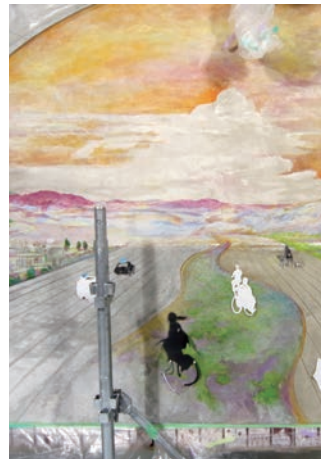
受賞者のコメント／左官 増田静一

このたびの、作品賞受賞ありがとうございます。様々な建築仕上がある中で土佐漆喰を選んで頂いた施主様、設計施工に携わった方々の塗り壁への思いに感謝申し上げます。そして土佐漆喰で彩るやすらぎの住まいを沢山の職人の手で完成出来た事の喜びと共に、この受賞により多くの方々に漆喰仕上の素晴らしさを伝える事が出来れば嬉しく思います。



選考評

行政窓口と図書館が併設された新たな施設に、まちの未来の姿を描いたフレスコ壁画である。未来への想いが込められた作品の周囲は、未来を担う地元の生徒たちを中心に描かれたズグラフィートで飾られている。施設を訪れる多くの人々にとって身近な作品として、これからも親しまれていくことであろう。



所在地
竣工
設計者
施工者
左官

栃木県佐野市葛生東 1-11-8 (旧葛生庁舎跡地)
2016年10月29日
大野 彩
大野彩と壁画 LABO (岡田佐知子、栗又由美、森 勝也)
左官 LABO (紙谷左官店・紙谷保朗、有限会社左菊・鈴木一史、
安達左官店・安達洋子)

受賞者のコメント／設計者、施工者 大野 彩

トンネルの向こうに明るい未来の葛生を現しました。「みんなで造る」をテーマに、壁画周囲の4辺には、旧葛生地区の中学校2校の生徒97名を中心に、講習会を行って、146枚の小レンガに、ひっかけて絵を描いてもらい貼りました。トンネルは、葛生関連の石灰会社、全17社より、取扱いの石灰を提供していただき、すべてを混合して制作しました。混合石灰は制作において素晴らしいものでした。



選考評

新たに建てられた栃木県佐野市庁舎に描かれたフレスコ画である。市民とともに世界の安寧を祈りたいとの思いのもと、太陽と市内の山を主題に描かれた大作品は、来庁者が行き交うエントランスロビーから見上げられ、存在感を示す。多くの市民に愛される公共の施設における、平和と希望の象徴であり続けてもらいたい。



所在地
竣工
設計者
施工者

栃木県佐野市高砂町1 佐野市庁舎内
2015年10月19日
佐藤総合計画・都市環境建築設計所特定設計業務共同企業体
名古屋芸術大学 高橋久雄

受賞者のコメント／施工者 高橋久雄

フレスコ画の歴史を見ると、ヨーロッパでは古代からフレスコ画が描かれています。消石灰の漆喰で描かれているポンペイの壁画は現在も美しく輝いています。

私は壁画芸術に引かれ、長年フランスを中心にその原点を学んで来ました。

栃木県佐野市新庁舎にフレスコ壁画制作を依頼され、栃木県石灰工業協同組合のご協力を得て完成いたしました。

現在フランスのオータン市庁舎にフレスコ壁画を描いています。



選考評

商業ビルのリノベーション再活用でも話題となった栃木市新庁舎に描かれたフレスコ画である。壁画が描かれたのは市庁舎とその駐車場を結ぶ場所で眼に入りやすい上、蔵の街である栃木市の秋祭りの様子が立体感をもって描かれており、市民も親しみを覚えやすい作品となっている。



所在地	栃木県栃木市万町 9-25 栃木市役所内
竣工	2014年7月1日
施工者	福島恒久
左官	福島恒久

受賞者のコメント／左官 福島恒久

2014年、栃木ロータリークラブ様60周年記念事業として、栃木県石灰工業協同組合様に同県の石灰を使ったフレスコ壁画の依頼があり、同年建設された栃木市新庁舎に寄贈されました。

蔵の街として知られる栃木市の秋祭りが沢山の人が賑わっている様子を描いたフレスコ壁画ですが、全ての線描に起伏が付けてあり平面の絵の中にも複雑な陰影が出るように制作してあります。



選考評

土佐藩、高知県ゆかりの歴史資料を展示する博物館として、土佐檜や土佐和紙のほか、土佐漆喰が多用され、まさに土佐の素材と技が生かされた施設である。伝統的な仕上げ方法である鎧づくりには、力強さとともに、城郭のような堅牢さと重厚感に圧倒される。また、来館者の行き来で損傷しやすい建物内部においては出隅の角を曲面に仕上げそれを防ぐなど、細かく丁寧な配慮もみられ、左官の技巧が尽くされている。



所在地
竣工
設計者
施工者
左 官

高知県高知市追手筋 2-7-5
2016年4月15日

日本設計・若竹まちづくり研究所共同企業体 松尾和生+佐藤八尋
清水・轟・入交特定建設工事共同企業体
有限会社かわうち 木村孝説

受賞者のコメント／設計者 佐藤八尋

高知城歴史博物館は、山内家の貴重な資料を後世に伝えるとともに、地域振興や観光推進などへの寄与を目的に建設されました。土佐漆喰を建物の内外に多用し、来館者の心に自然の恵みの豊かさを印象づけています。土佐に蓄積された職人の技と知恵があって初めて建築材料として生かされています。

今後、土佐の風土と共に厳しい自然環境に耐え風格を増し、高知城と共に愛され続けるでしょう。



選考評

左官と芸術家らによる共作であり、芸術家のあとを左官が最後まで仕上げるという難しい作業をやり遂げたものである。漆喰、土、ガラス、サンゴ、木など様々な素材を使用した一枚の壁面作品として完成している中、漆喰は素材間の目地を細やかに仕上げながらも、変化に富んだ面ごとの表情も巧みに表現している。芸術における左官の可能性を実感できる大作である。



所在地
竣工
設計者
施工者
左官

宮崎県都城市下川東 4-28-1 霧島ホールディングス株式会社
2014年5月19日
YAMAGATAINTECH 株式会社 宮崎事業所 デザイン室 小松進治
吉原建設株式会社 白尾和幸
田崎左官 田崎龍司

受賞者のコメント／左官 田崎龍司

霧島酒造本社 企画室応接室の壁面アートのお話を頂き、琉球泡ガラス作家 稲嶺氏、屋久島の流木アートの金沢氏と左官のコラボレーション。

数回の打合せ会議を含め、完成まで約1年の長丁場でしたが、「良いモノを創って下さい」との、代表取締役江夏専務のお言葉を励みに施工させて頂きました。その場の気を感じ素直に土と漆喰で表現する喜びを感じながらの作業は幸せでした。

L

ist of Address

p-08-09 道の駅 「よって西土佐」	設 計	者／株式会社寒川建築研究所 寒川洋次 〒760-0063 香川県高松市多賀町 2-10-9	TEL : 087-862-8784	FAX : 087-835-2157
	施 工	者／株式会社山沖建設 山沖 修 〒787-0666 高知県四万十市楠島 1033	TEL : 0880-37-2001	FAX : 0880-37-2002
	左 官	／川村左官工業 川村年明 〒788-0783 高知県宿毛市平田町戸内 4005	TEL : 0880-66-0410	FAX : 0880-66-0410
	写 真	／三崎利博		
p-10-11 蔵戸の家	設 計	者／一級建築士事務所木輪組 小田貴之 〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町土取 15-8	TEL : 0533-37-1618	FAX : 0533-67-1629
	施 工	者／オダ工務店 小田紀充 〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町土取 15-8	TEL : 0533-37-1618	FAX : 0533-67-1629
	左 官	／有限会社小林業務店 小林 公 〒443-0046 愛知県蒲郡市竹谷町作間 5-1	TEL : 0533-67-5433	FAX : 0533-67-5433
	写 真	／山本直樹		
p-12-13 大和高取 井上邸土蔵修復工事	施 工	者／西本工務店 西本太久巳 〒635-0153 奈良県高市郡高取町下土佐 327	TEL : 0744-52-2433	FAX : 0744-52-2433
	左 官	／和佐左官 和佐忠浩 〒635-0154 奈良県高市郡高取町観覚寺 69-1	TEL : 0744-55-2742	FAX : 0744-55-2742
	写 真	／宮奥淳司		
p-14-15 シグマ建設 新社屋 (スマートオフィス)	設 計	者／森史夫+ ONO 一級建築士事務所 小野 猛 〒366-0033 埼玉県深谷市国済寺 422-9	TEL : 048-574-1611	FAX : 048-574-1537
	施 工	者／シグマ建設株式会社 小野 猛 〒366-0033 埼玉県深谷市国済寺 422-9	TEL : 048-874-1611	FAX : 048-574-1537
	左 官	／鶴川工業株式会社 鶴川 建 〒362-0003 埼玉県上尾市菅谷 409-3	TEL : 048-773-1316	FAX : 048-773-1643
	写 真	／田畑信之		
p-16-17 大本山巨福山 建長寺 大徹堂新築工事	設 計	者／望月敬生建築設計室 望月敬生 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-2-3-201	TEL : 03-3202-7679	FAX : 03-3202-2261
	施 工	者／株式会社中島工務店 中島紀子 〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂 727	TEL : 048-290-7021	FAX : 048-290-7040
	左 官	／株式会社あじま左官工芸 阿嶋一浩 〒125-0062 東京都葛飾区青戸 8-19-11	TEL : 03-3690-2108	FAX : 03-3690-4027
p-18-19 ならやまの家	設 計	者／伊藤吉郎+トヨタヤスシ建築設計事務所 豊田保之 〒600-8893 京都府京都市下京区西七条御領町 84	TEL : 075-313-7116	FAX : 075-313-7256
	施 工	者／株式会社ツキデ工務店 築出恭伸 〒611-0021 京都府宇治市宇治野神 94 番地 10	TEL : 0774-21-2611	FAX : 0774-21-2614
	左 官	／豊田工業所 豊田武生 〒600-8893 京都府京都市下京区西七条御領町 84	TEL : 075-313-7112	FAX : 075-313-7256
	写 真	／豊田保之		

p-20-21 熊野町の離れ	設 計 者	株式会社アラキ+ササキアーキテクト 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町 1-11-1-2F	TEL : 042-440-3141	FAX : 042-440-3142
	施 工 者	橋本建設株式会社 橋本英俊 〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安 1-1-29	TEL : 082-878-1110	FAX : 082-878-1109
	左 官	高松左官工業 高松英二 〒731-0142 広島県広島市安佐南区高取南 1-7-32	TEL : 082-878-5880	FAX : 082-878-5880
	写 真	新建築社写真部		
p-22-23 「城下町」N邸	設 計 者	有限会社環境計画建築研究所 〒690-0855 島根県松江市浜佐田町 982-1	TEL : 0852-36-8266	FAX : 0852-36-9133
	施 工 者	株式会社金見工務店 川井幹也 〒690-0015 島根県松江市上乃木 2-18-1	TEL : 0852-25-6025	FAX : 0852-25-6064
	左 官	有限会社中村技建工業 高尾良悦 〒690-2403 島根県雲南市三刀屋町下熊谷 1660-15	TEL : 0854-45-2351	FAX : 0854-45-2570
	写 真	岡田写真事務所 岡田泰治		
p-24-25 O邸	設 計 者	小笠原優建築設計事務所 小笠原優 〒106-0044 東京都港区東麻布 2-22-5-302	TEL : 03-6869-9767	FAX : 03-6869-6763
	施 工 者	有限会社中野工務店 中野晴樹 〒922-0443 石川県加賀市野田町コ 19	TEL : 0761-74-2155	FAX : 0761-74-7355
	左 官	坂森左官 坂森 康 〒922-0673 石川県加賀市塩屋町 2-1	TEL : 0761-73-8251	
p-26-27 岩手銀行 赤レンガ館	設 計 者	文化財保存計画協会 矢野和之+細川道夫+津村泰範+野呂光平 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5 岩波書店一ツ橋ビル 13F	TEL : 03-5276-8200	FAX : 03-5270-8201
	施 工 者	樹 丸山紘明 〒140-0014 東京都品川区大井 1-28-1 住友不動産大井町駅前ビル 13F	TEL : 090-6019-0613	
	左 官	工学院大学建築学部 後藤・田村研究室 田村雅紀 〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2 25階 A-2575	TEL : 03-3342-1211 ex.2737	FAX : 03-3340-0419
p-28-29 本郷の長屋	設 計 者	きよたけ建築工房 〒113-0033 東京都文京区本郷 4	TEL : 03-6873-5606	FAX : 03-6873-5606
	施 工 者	きよたけ建築工房 〒113-0033 東京都文京区本郷 4	TEL : 03-6873-5606	FAX : 03-6873-5606
	左 官	株式会社千巻屋 〒164-0002 東京都中野区上高田 2-58-9		
	写 真	小川重雄		
p-30-31 思いを未来に繋ぐ 古民家再生	設 計 者	ユードーホーム株式会社 鈴木健規 〒325-0013 栃木県那須塩原市鍋掛 1088-48	TEL : 0287-62-1161	FAX : 0287-60-7275
	施 工 者	ユードーホーム株式会社 鈴木健規 〒325-0013 栃木県那須塩原市鍋掛 1088-48	TEL : 0287-62-1161	FAX : 0287-60-7275
	左 官	齋藤工業 齋藤光範 〒321-3221 栃木県宇都宮市板戸町 2257	TEL : 028-667-2924	FAX : 028-667-2924
	写 真	田岡信樹		
p-32-33 長南の土蔵	設 計 者	川崎親夫 〒297-0101 千葉県長生郡長南町岩川 540	TEL : 0475-46-1556	
	施 工 者	建築山崎 山崎晴夫 〒298-0012 千葉県いすみ市小沢 2600	TEL : 0470-62-9605	
	左 官	有限会社秋葉プラスタル工業 秋葉正男 〒278-0017 千葉県野田市大殿井 83-145	TEL : 04-7124-2594	FAX : 04-7124-2591
	写 真	秋葉正男		

p-34-35 木と土佐漆喰で彩る やすらぎの住まい	設 計 者	株式会社設計本舗 中谷浩之 〒189-0003 東京都東村山市久米川町 1-52-38	TEL : 042-398-7121	FAX : 042-398-7122
	施 工 者	有限会社鈴木建設 鈴木義隆 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘 3-366-6	TEL : 042-493-0533	FAX : 042-426-8522
	左 官	有限会社増田左官工業 増田静一 〒204-0001 東京都清瀬市下宿 2-457-3	TEL : 042-492-1392	FAX : 042-492-0725
p-36-37 ふるさと・葛生 未来への道(フレスコ画)	設 計 者	大野 彩 〒143-0025 東京都大田区南馬込 4-18-13	TEL : 03-3771-6535	FAX : 03-3771-6535
	施 工 者	大野彩と壁画 LABO (岡田佐知子、栗又由美、森 勝也) 〒143-0023 東京都大田区山王 1-31-2 石ビル MBF	TEL : 03-3771-6535	FAX : 03-3771-6535
	左 官	左官 LABO (紙谷左官店・紙谷保朗、有限会社左菊・鈴木一史、安達左官店・安達洋子) 紙谷左官店 〒239-0824 神奈川県横須賀市西浦賀 5-20-3	TEL : 046-841-7838	FAX : 046-841-7838
		有限会社左菊 〒238-0243 神奈川県三浦市三崎 1-10-4	TEL : 046-882-6460	FAX : 046-881-0263
		安達左官店 〒195-0063 東京都町田市野津田町 2825-1	TEL : 090-8347-8071	FAX : 03-6745-8458
写 真	真/勝山泰佑			
p-38-39 フレスコ壁画 太陽と岩山	設 計 者	佐藤総合計画・都市環境建築設計所特定設計業務共同企業体 株式会社佐藤総合計画 〒130-0015 東京都墨田区横網 2-10-2 AXS ビル	TEL : 03-5611-7201	FAX : 03-5611-7226
	施 工 者	株式会社都市環境建築設計所 〒320-0821 栃木県宇都宮市一条 1-2-16 名古屋芸術大学 高橋久雄	TEL : 028-634-2134	FAX : 028-637-0694
p-40-41 フレスコ壁画 古今扇舞秋祭図	施 工 者	福島恒久 〒327-0317 栃木県佐野市田沼町 335-5		
	左 官	福島恒久 〒327-0317 栃木県佐野市田沼町 335-5		
p-42-43 高知城歴史博物館	設 計 者	日本設計・若竹まちづくり研究所共同企業体 松尾和生+佐藤八尋 株式会社日本設計 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 4-1-1	TEL : 050-3139-7048	FAX : 06-6202-2429
		株式会社若竹まちづくり研究所 〒780-8031 高知県高知市大原町 87-1 杉本ビル 2 F	TEL : 088-834-0896	FAX : 088-834-0897
	施 工 者	清水・轟・入交特定建設工事共同企業体 〒780-0870 高知県高知市本町 4-1-8 四国支店高知営業所	TEL : 088-872-6126	FAX : 088-822-0807
	左 官	有限会社かわうち 木村孝説 〒781-2122 高知県吾川郡いの町天王北 1-6-6	TEL : 088-891-6288	FAX : 088-891-6277
	写 真	真/稲住写真工房 稲住泰広		
p-44-45 霧島酒造本社 企画室応接室 壁面アート	設 計 者	YAMAGATAINTECH 株式会社 宮崎事業所 デザイン室 小松進治 〒885-0044 宮崎県都城市安久町 5023-1	TEL : 0986-39-6000	FAX : 0986-27-6009
	施 工 者	吉原建設株式会社 白尾和幸 〒885-0032 宮崎県都城市中原町 32-1	TEL : 0986-25-7000	FAX : 0986-25-7006
	左 官	田崎左官 田崎龍司 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大崎 1910-75	TEL : 0954-36-3274	FAX : 0954-36-3274

W hat a great Shikkui.

漆喰とは

漆喰は、消石灰（水酸化カルシウム）とCO₂との反応で固結するという原理（ $\text{Ca}(\text{OH})_2 + \text{CO}_2 = \text{CaCO}_3 + \text{H}_2\text{O}$ ）に基づく壁材であり、消石灰を主原料に、のりや繊維質を添加した壁材のことを「漆喰」といいます。

漆喰の建物は、世界各国に数多く存在します。漆喰の歴史は世界では数千年前より、わが国では1,300年前にさかのぼります。それは、原料である石灰が世界各地で産出可能であり、漆喰そのものが建物を守り彩る素材として、優れているからに他なりません。

石灰は現在輸入ゼロ。全て国内生産で賄える数少ない豊富な天然資源です。古代エジプト文明はピラミッドから始まり、ラスコーを経て、中国は敦煌、そして日本の高松塚古墳や法隆寺へ・・・その国々の代表的建造物の壁を彩るのは漆喰です。

■こんなにある！漆喰を使う理由

1. 漆喰は湿度を調整し、結露から来るカビやダニを防止します。
2. 漆喰は悪臭やホルムアルデヒドなどのVOCを吸着する機能があります。
3. 漆喰は静電気が発生せず、ビニールクロスよりもはるかに汚れにくい仕上げです。
4. 漆喰には有害な物質が含まれておらず、廃棄されても環境に優しい素材です。
5. 漆喰はそのアルカリ性で、抗菌作用が長期間持続します。

■鳥インフルエンザの予防や口蹄疫の防疫・消毒に

漆喰の主原料である消石灰は、鳥インフルエンザや口蹄疫の防疫・消毒に撒かれております。鳥インフルエンザに対する有効性がパスツール研究所（フランス リール市）への委託研究で実証されました。

「第12回日本漆喰協会作品賞」受賞作品集

主催 日本漆喰協会
協賛 一般社団法人日本左官業組合連合会

編集 第12回日本漆喰協会作品賞審査委員会
デザイン 株式会社報光社
印刷 株式会社報光社
発行者 日本漆喰協会
発行 平成29年9月

日本漆喰協会
105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-21 日本石灰協会内
TEL 03-3504-1601 FAX 03-3593-1604
URL <http://www.shikkui.gr.jp/>

※無断に転載、複写を禁じます。

JSA
japan shikkui association